



国関整企画第 4 号
令和 2 年 4 月 21 日

横浜市長
林 文子 様

国土交通省関東地方整備局長
石原 康弘



直轄事業の事業計画等（横浜市関連分）について

平素から国土交通省直轄事業の推進にあたり、御高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当地方整備局における令和 2 年度事業計画等のうち、横浜市関連分について、別紙のとおりお知らせいたします。

（事業計画等は現時点における予定であり、今後変更する可能性があります。）

事務担当：（全 般） 企画部 企画課 企画第一係
（道 路） 道路部 道路計画第一課 計画第一係
（港 湾） 港湾空港部 港湾管理課 管理第一係

令和2年度当初 横浜市における負担額 総括表

(単位：千円)

事業区分	負担基本額	地方負担額
河川関係	-	-
道路関係	25,693,000	8,719,830
公園関係	-	-
港湾関係 (港湾海岸事業を含む。)	19,350,200	7,064,390
空港関係	-	-
合計	45,043,200	15,784,220

※端数処理の関係上、合計と一致しないことがある。

令和2年度当初 横浜市における事業計画(道路関係〔直轄〕)

改築事業(幹線道路ネットワーク整備)

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)						地方 負担額	R2年度事業内容	備考	
				内 訳									計
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道468号	首都圏中央連絡自動車道 (金沢～戸塚)	L=8.9km	5,820	14,523,100	745,000	350,000	63,900	0	0	15,682,000	5,227,333	調査推進: 調査設計 用地買収推進: 栄地区ほか用地買収 工事推進: 栄IC-JCT橋梁上下部工 栄・戸塚地区改良工	用地進捗率(起業地):約99% 事業進捗率:約78% 金利谷JCT～(仮称)戸塚IC L=8.9km(6/6) 令和7年度開通予定 <残事業費> 令和3年度以降:約300億円
国道468号	首都圏中央連絡自動車道 (横浜湘南道路)	L=7.5km	4,600	7,372,200	142,000	1,000	34,800	0	0	7,550,000	2,516,666	調査推進: 調査設計 用地買収推進: 栄地区ほか公共補償 工事推進: 横湘トンネル工 小雀高架橋橋梁上下部工 小雀地区改良工	用地進捗率(起業地):約99% 事業進捗率:約48% (仮称)栄IC-JCT～藤沢IC L=7.5km(4/4) 令和6年度開通予定 <残事業費> 令和3年度以降:約420億円
国道357号	東京湾岸道路(神奈川県区 間)	L=35.1km	2,960	0	150,000	0	0	0	0	150,000	50,000	調査推進: 調査設計	用地進捗率:約96% 事業進捗率:約52%
国道246号	都筑青葉地区環境整備	L=4.5km	550	345,000	132,100	0	2,900	0	0	480,000	160,000	調査推進: 調査設計 工事推進: 市ヶ尾地区ほか舗装工	用地進捗率:約85% 事業進捗率:約91%
合 計				22,240,300	1,169,100	351,000	101,600	0	0	23,862,000	7,953,999	残事業費:約1,690億円	

(注) 地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

(注) 備考欄の用地進捗率は、令和2年3月31日時点である。

(注) 備考欄の事業進捗率は、令和2年3月31日時点である。

(注) 備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

(注) 都道府県及び政令市をまたぎ実施する事業の事業規模、全体事業費、用地進捗率、事業進捗率については、他の都道府県政令市の区間を含む。

(注) 備考欄に開通予定の記載がない区間については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で開通時期を確定する予定である。

令和2年度当初 横浜市における事業計画(道路関係〔直轄〕)

改築事業(防災対策等)

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							地 方 負担額	R2年度事業内容	備考
				内 訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道1号	神奈川湘南1号環境対策	L=6.0km	-	30,000	5,000	0	0	0	0	35,000	11,666	調査推進: 調査設計 工事推進: 環境対策工	
国道16号	神奈川16号環境対策	L=72.2km	-	188,900	20,000	0	1,100	0	0	210,000	70,000	調査推進: 調査設計 工事推進: 環境対策工	
合 計				218,900	25,000	0	1,100	0	0	245,000	81,666		

(注) 地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

(注) 備考欄の用地進捗率は、令和2年3月31日時点である。

(注) 備考欄の事業進捗率は、令和2年3月31日時点である。

(注) 備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

(注) 都道府県及び政令市をまたぎ実施する事業の事業規模、全体事業費、用地進捗率、事業進捗率については、他の都道府県政令市の区間を含む。

(注) 備考欄に開通予定の記載がない区間については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で開通時期を確定する予定である。

令和2年度当初 横浜市における事業計画(道路関係〔直轄〕)

交通安全事業(Ⅰ種)

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)						地 方 負担額	R2年度事業内容	備考	
				内 訳									計
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道1号	神奈川1号交通安全対策	—	—	18,000	6,000	191,000	0	0	0	215,000	71,667		
	┌ 新子安横断歩道 │ 橋整備	—	—	18,000	0	0	0	0	0	18,000		・工事	
	└ 戸部地区歩道整 備	—	—	0	6,000	191,000	0	0	0	197,000		・調査設計 ・用地買収	
国道15号	神奈川15号交通安全対策	—	—	51,000	0	0	0	0	0	51,000	17,000		
	┌ 幸ヶ谷横断歩道 │ 橋整備	—	—	51,000	0	0	0	0	0	51,000		・工事	
国道16号	神奈川16号交通安全対策	—	—	225,000	31,000	130,000	1,000	0	0	387,000	129,000		
	┌ 屏風ヶ浦交差点 │ 改良	—	—	60,000	19,000	130,000	1,000	0	0	210,000		・調査設計 ・用地買収 ・工事	
	┌ 高島町交差点改 │ 良	—	—	87,000	0	0	0	0	0	87,000		・工事	
	└ 東川島町歩道整 備	—	—	78,000	12,000	0	0	0	0	90,000		・調査設計 ・工事	
合 計			—	294,000	37,000	321,000	1,000	0	0	653,000	217,667		

(注) 地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

(注) 備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

(注) 備考欄に開通予定の記載がない事業については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で開通時期を確定する予定である。

令和2年度当初 横浜市における事業計画(道路関係〔直轄〕)

交通安全事業(Ⅱ種)

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							地 方 負担額	R2年度事業内容	備考
				内 訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道1号 国道15号 国道16号 国道246号	-	-	-	188,000	49,000	0	0	0	0	237,000	118,500	・道路標識、防護柵、区画線 ・情報提供板、CCTV	
合 計			-	188,000	49,000	0	0	0	0	237,000	118,500		

(注)地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

令和2年度当初 横浜市における事業計画(道路関係〔直轄〕)

電線共同溝事業

路線名	箇所名等	事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							計	地方 負担額	R2年度事業内容	備考
				内 訳										
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費					
国道15号	神奈川15号電線共同溝			162,700	2,000	0	300	0	0	165,000	82,500	・調査設計 ・本体工事(引込連系管路工事 等含む)		
	{ 鶴見中央(2)電線共同溝	L=0.8km	8	162,700	2,000	0	300	0	0	165,000				
国道16号	神奈川16号電線共同溝			258,000	7,000	0	0	0	0	265,000	132,500	・調査設計 ・本体工事(引込連系管路工事 等含む)		
	{ 金沢(2)電線共同溝	L=1.1km	11	29,000	1,000	0	0	0	0	30,000				
	{ 堀口電線共同溝	L=1.3km	8	59,000	1,000	0	0	0	0	60,000				
	{ 富岡東(2)電線共同溝	L=0.8km	6	49,000	1,000	0	0	0	0	50,000				
	{ 富岡東電線共同溝	L=0.8km	7	40,000	1,000	0	0	0	0	41,000				
	{ 磯子(2)電線共同溝	L=0.4km	3	33,000	1,000	0	0	0	0	34,000				
	{ 保土ヶ谷(3)電線共同溝	L=0.5km	5	19,000	1,000	0	0	0	0	20,000				
{ 川井電線共同溝	L=0.7km	6	29,000	1,000	0	0	0	0	30,000					
国道246号	神奈川246号電線共同溝			49,000	1,000	0	0	0	0	50,000	25,000	・調査設計 ・本体工事(引込連系管路工事 等含む)		
	{ 目黒電線共同溝	L=0.4km	4	49,000	1,000	0	0	0	0	50,000				

令和2年度当初 横浜市における事業計画(道路関係〔直轄〕)

電線共同溝事業

路線名	箇所名等	事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							地方 負担額	R2年度事業内容	備考
				内 訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附带工事費	事 業 車両費				
国道357号	神奈川357号電線共同溝			193,000	21,000	1,000	1,000	0	0	216,000	108,000		
	新磯子(2)電線共同溝	L=0.8km	7	2,000	1,000	0	0	0	0	3,000		・調査設計 ・本体工事(引込連系管路工事 等含む)	
	新磯子(3)電線共同溝	L=1.2km	10	0	19,000	1,000	0	0	0	20,000		・調査設計 ・支障物移設	
	福浦電線共同溝	L=1.2km	9	191,000	1,000	0	1,000	0	0	193,000		・調査設計 ・本体工事(引込連系管路工事 等含む)	
計				662,700	31,000	1,000	1,300	0	0	696,000	348,000		

(注) 地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

(注) 備考欄の完成予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

(注) 備考欄に完成予定の記載がない事業については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で完成時期を確定する予定である。

令和2年度当初 横浜港（港湾管理者：横浜市）における事業内容等（港湾関係）

（様式1）

港湾整備事業

（単位：千円）

港名	施設名	事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額							計	地方 負担額	事業内容	備考
				内訳										
				工事費	測量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯 工事費	事業 車両費					
～南本牧ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業～														
横浜港	南本牧地区		1,536											
	荷さばき地(MC4)	A=527,000m ²		78,934	32,306	0	8,540	0	220	120,000	40,000	舗装工	令和2年度完成予定	
～大黒ふ頭地区ふ頭再編改良事業～														
横浜港	大黒地区		89											
	岸壁(-12m)(改良)	L=290m		(1,533,200) 1,606,685							(1,533,200) 1,633,200	(689,940) 734,940	基礎工、本体工、上部工、舗装工、付属工	令和3年度目途完成予定 ※完成に向けた円滑な事業実施環境(注2)が整った段階で確定予定
～国際海上コンテナターミナル再編整備事業～														
横浜港	本牧地区		3,100											
	岸壁(-16m)(BC閉)	L=80m		<2,610,000> 3,101,597	210,223	0	46,970	0	1,210	3,360,000	<2,610,000> 1,008,000	本体工、上部工、舗装工、付属工	令和10年代前半完成予定 ※完成に向けた円滑な事業実施環境(注2)が整った段階で確定予定	
	泊地(BC2)	A=13,600m ²		60,654	13,966	0	4,270	0	110	79,000	35,550	浚渫工		
	航路・泊地(BC2)	A=156,400m ²		594,676	107,144	0	46,970	0	1,210	750,000	250,000	浚渫工		
	新本牧地区													
	岸壁(-18m)	L=1,000m		<2,728,000> (3,408,000) 6,628,278	166,172	0	52,395	0	1,155	6,848,000	<2,728,000> (1,022,400) 2,054,400	海上地盤改良工		
	護岸(防波)	L=1,500m		(5,700,000) 6,154,478	256,962	0	57,295	0	1,265	(5,700,000) 6,470,000	(2,565,000) 2,911,500	海上地盤改良工、基礎工、本体工、裏込工		
～南本牧～本牧ふ頭地区臨港道路整備事業～														
横浜港	南本牧～本牧地区		1,193											
	道路	2車線×6,000m		764	82,666	0	6,405	0	165	90,000	30,000	調査・設計	令和10年代前半完成予定 ※完成に向けた円滑な事業実施環境(注2)が整った段階で確定予定	
計				<5,338,000> (10,641,200) 18,226,066	889,384	0	229,250	0	5,500	<5,338,000> (10,641,200) 19,350,200	<1,601,400> (4,277,340) 7,064,390			

＜書きは令和元年度国債の令和2年度支出分で内数

＞書きは令和2年度国債の令和2年度支出分で内数

(注1) 端数処理の関係で施設毎の合計と合わない場合があります。

(注2) 「事業実施環境」とは、漁業補償の締結、公有水面埋立免許の取得、用地取得の完了、土砂処分場の確保後等といった、事業を進捗させる上で不可欠な環境のことです。